

このページでは、避難生活での疑問や、除染・補償・賠償に対する質問にお答えします

ご協力ありがとうございました
7月10日・11日 飯館村役場飯野出張所でお聞きしました



庄司邦夫さん(関沢)

(質問) 傷みがひどく使えなくなった建物の取り壊しをする場合、いつ頃解体するのがよいのでしょうか。仮置き場などへの搬入はできるのでしょうか。

(回答) 今回、震災に伴う避難で所有者が管理できなかったことによって荒廃した建物や倒壊した建物・倒壊しそうな建物については村が調査し、その時点で半壊以上と見なした家屋等を、「災害廃棄物」として国が解体・片付けし敷地内から撤去します。なお、撤去は更地までとし、一部の解体はいたしません。

対象となる建物は、母屋・納屋・倉庫・車庫・農業用大型パイプハウス・農業用小型パイプハウス等です。建物等は、所有者の申請により、国が解体・片付け・撤去します。

今後、国が受け付けできるようになりましたら、改めて申請のご案内をいたしますので、それまで、お待ちください。取り壊した廃材の保管場所については、各行政区の仮置き場に一時保管できないか、現在、国と検討中です。

なお、所有者が建物を業者に依頼して解体した場合は「産業廃棄物」となり、国では撤去することができませんので、ご承知ください。



齋藤ゆみ子さん(飯樋町)

(質問) 村のこれからのことを心配しています。年寄りが帰ったとしても、先が見えないと感じてしまいます。

(回答) 除染が進まず、除染完了の見込み時期も見直されて、長期化した全村避難は4年目となりました。

村は、避難直後から復興計画の検討に入り、村の新たな将来像を議論して版を重ね、計画の具体化を進めてきました。「いいたてまでいな復興計画」については、6月議会定例会で第4版が成案となり全戸配布をさせていただきましたが、一方で先月より第5版策定に向けた検討も始めているところです。

第5版を検討する「いいたてまでいな復興計画推進委員会」は、村民主体のテーマ別部会を新たに設け、7月25日に第1回目の会議を行いました(詳しくは本誌P2をご覧ください)。第5版では、検討してきた復興事業や地域づくりについても、部会による協議をもとに具体化を進めます。村民の皆さんのご協力をいただきながら、少しでも先を見通せる計画が示しできるよう努めてまいります。



狐にだまされた法印様

昔々な、飯樋がら大倉さ登ってぐ山道さなあ、んーと大つけ松ぬ木一本あつたんだ。ほの飯窪さ、法螺の貝持つて錫杖つつう棒ついで、軒並んで歩つてた法印様いんだ。ある日大倉さん、ほの松ぬ木の下ん所さ来たらば、狐屋寝したんだ。ほんで、「ああ俺ごど化かんすつ気なつてんだ」なんて、肩さ掛けつた法螺の貝、口さ当てで、「ブオーン」って吹いだんだ。ほうしたら、狐はぶつたまげで、跳んびやがつて山ん中さ逃げでつちまつたんだ。法印様は「あの馬鹿狐、驚がさうちえ逃げでつちまつたわ。アッハッハッハ」って、腹かげえで笑つたんだ。

ほんで「暗ぐなんねうち我家さ帰らえつ」なんて思つて行つたんだ。げんちよも、何だがこいら暗くなつちまつたつんだ。「あれえ、おがしなあ」なんて思つて見つたらば、松ぬ木一本立つてんだ。ほんでなあ、ちよこんと腰掛けで辺り見つたらば、何だが新しお墓あるみでんだ。「あれえ行く時、こんな所さお墓なんか無がつたげんちよもなあ」なんて思つて見つたんだ。ほしたらお墓、フワツと持つちやがつて、ワリワリツて打裂げだみでな氣したんだ。ほんでハツと思つて見たらば、メラメラマッて青い火出できた。たづがら、法印様は「こいつあ恐つかねえ」って、木さ登つちまつたんだ。ほしたら今度は、白い着物着たザンザラ髪幽霊出て来て「法印、団子よごせえ。団子よごせえ」って追つた。法印様は恐つかねがら、夢中なつて上の方さ登つてたんだ。んだけしも、「法印、団子よごせえ」ってなんぼでも追つた。で来らつちえ、てつちよまで登つちまつたもんだがらボキーンと折つちえ、ドシャーンと叩き落ちたんだ。ほうして「ハッ」と思つて目覚めたら、元みでまっぴがりに明りがつたんだ。ほいづはなあ、法印様行く時、寝つた狐ごど、法螺の貝吹いで驚がした。たがら、狐は「帰りに敵取つてくえつ」なんて思つて、法印様ごど化かんした。たんだ。んだがら、敵ごどだつて、驚がしたりめじめにすつと、ほういぐ敵取らえつから、可愛がなんねんだ。

「話者/故・菅野キクさん(小宮) いいたて民話の会発行「語つて聞かせっかい」から抜粋



誕生おめでとう

赤ちゃんの名前	親の氏名	行政区
庄司 遥香ちゃん	正博・恵里	伊丹沢
大内 朝日くん	勝・沙織	佐須
星 優愛ちゃん	和真・千夏	飯樋町
宇佐見 桜ちゃん	裕・里香	比曽
三輪 愛夏ちゃん	慶太・さおり	関沢
眞柴 鳳土くん	哲宏・優佳	草野

すくすくと元気に育ってね

ひとのうごき

(平成26年7月1日現在)

人口	今月(前月比)	昨年同期
男	2901 (-3)	2928
女	2988 (-5)	3015
計	5889 (-8)	5943
世帯数	1633 (-5)	1662

6月1日～30日までの
◆人口動態◆

転入	6人
転出	8人
出生	3人
死亡	9人

(平成22年国勢調査に基づき増減された人口)



結婚おめでとう

氏名	出身地
大井 美裕	草野
村上 綾菜	郡山市

いつまでもお幸せに



おくやみ

氏名	年齢	行政区
菅野 光子	77	比曽
高橋 マスイ	78	上飯樋
井上 ミサイ	91	関沢
西 ステノ	93	上飯樋
庄司 マキ	88	草野

ご冥福をお祈り申し上げます

(6月21日から7月20日までに届け出のあったものを掲載)
※この欄に掲載を希望しない方は、届出のときに住民係へ申し出てください。

編集後記

「ほら貝が見当たらないので口でやりますね」という進行のお兄さん。「ぼーぼーぽー」というほら貝の口マネで、読谷村の子どもたちによる棒術披露は始まりました。▼「あればよかったんだけど、仕方ないね」と明るく言い放つ柔軟さ。何だか力が抜けて思わず笑ってしまいました。「ああ笑った。空も海も青いし、気持ちいいな。すうっと深呼吸して、子どもたちの見事な演舞にカメラを向けます。▼ガイドさんや店員さん、道で話した人さへも、沖縄で出会った人たちはみんな底抜けにやさしくて大らかでした。何だかさっきのおとぼけも、初対面の垣根を下げる「おもてなし」みたいだと思えてきました。▼いいいてっ子たちもきつと、いろんな沖縄を見つけて来たのでしょね。(星)